

# 開通区間の整備効果①

物流の効率化による生産性向上と地域開発の促進

○厚木市では、東名や圏央道などの交通利便性を活かした物流拠点の建設が進むなど、工業団地や物流拠点が集積しており、新東名の開通により、更なる物流の効率化による生産性の向上が期待されます

○新東名厚木南IC周辺の自治体では、新たな産業拠点の創出やまちづくりのための土地区画整理事業が進んでおり、新東名の開通が地域開発を促進します



## 新東名高速道路への期待の声

### ○物流企業の声

厚木ICを利用しており、最寄の厚木南ICの開通により配送時間の削減やコスト削減を期待している。

### ○周辺自治体の声

- (A市) 新東名の開通を意識して、南部産業拠点の整備を進めている。全線開通までには形にしていきたい。
- (B市) 東名、圏央道、新東名高速道路の各インターチェンジからの交通利便性を活かした「新たな産業基盤の創出」を進めている。
- (C市) 圏央道や新東名の整備効果も活かした新たな産業の創出や魅力ある施設の誘致によって、居住人口の増加や広域的な交流連携、雇用の創出等により、市全体への経済活動の波及を期待している。

# 開通区間の整備効果②

海老名JCT等の交通混雑緩和と移動時間短縮による定時性向上

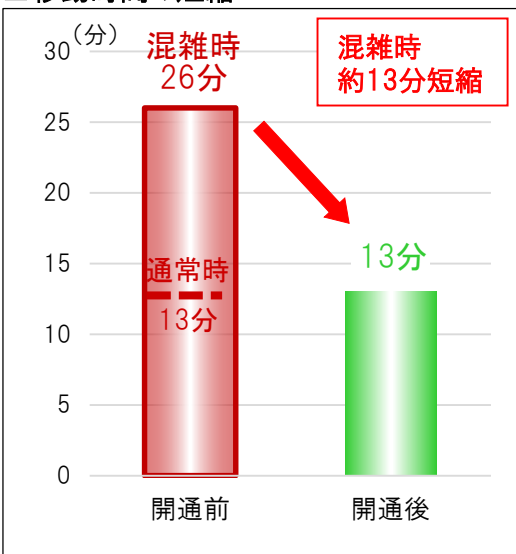
NEXCO

○新東名厚木南ICの開通により、海老名JCTでの選択肢が増えることで、海老名JCTおよび厚木IC周辺道路の交通混雑が緩和され、定時性が向上します

## ■海老名JCT付近の混雑状況



## ■移動時間の短縮



※相模原市(相模原愛川IC)～厚木市(戸田交差点)の所要時間



## 新東名高速道路への期待の声

### ○通勤利用者の声

相模原市から圏央道を利用して厚木市内に通勤しています。厚木南ICが開通すると、厚木IC周辺の混雑を回避して通勤できるようになるので、通勤時間の短縮に期待しています。

### ○物流企業の声

中部や関西方面から関東首都圏各地への配送の中継のための内陸倉庫として機能しています。これまでは東名や圏央道方面では、厚木ICをメインに活用しており、開通後、最寄となる厚木南ICを活用することによる配送時間の短縮やそれに伴うコスト削減の効果がでることを期待している。

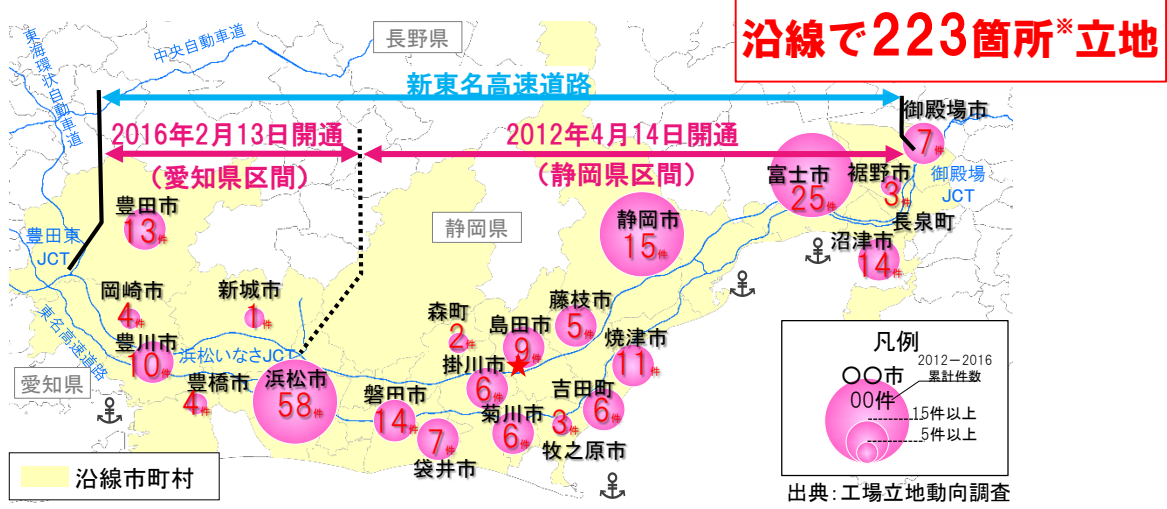
# 参考①新東名高速道路の効果

ダブルネットワーク形成に伴う地域開発の促進と、沿線地域の活性化



- 新東名の開通により、東名を含めた沿線地域で新たな工場立地が進展
- 静岡県の工場立地※1件数が約2倍に増加(全国第1位)し、愛知県を含む東海地方が全国の増加件数の約半数を占めるなど、新東名の開通が沿線自治体の活性化の加速を支援
- 今回の開通に加え、今後の新東名の開通が沿線自治体の地域活性化の取組みを支援します

## ■新東名・東名沿線に新たに立地した工場 (2012.1~2016.6の累計)

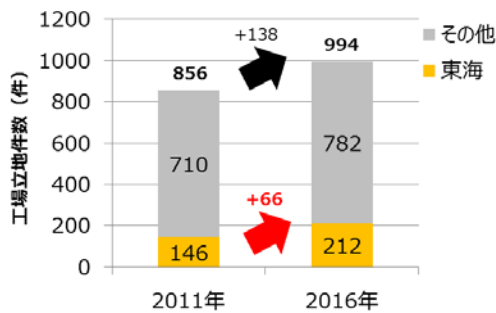


(※うち92箇所は移転立地)

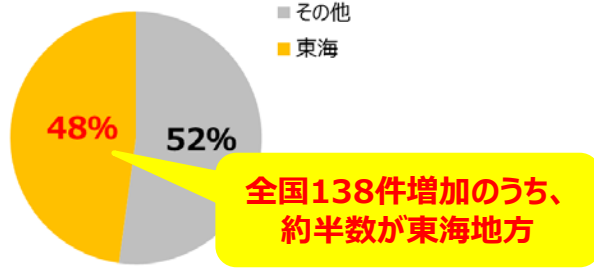
## ■都道府県別工場立地※1件数の変化



## ■地域別工場立地※1件数の変化



工場立地件数の伸び (2011→2016)



※1: 製造業、電気業(水力発電所、地熱発電所、太陽光発電所を除く)、ガス業および熱供給業のための工場または事業場を建設する目的をもって取得(借地を含む。)された1,000㎡以上の用地(埋立予定地を含む。)

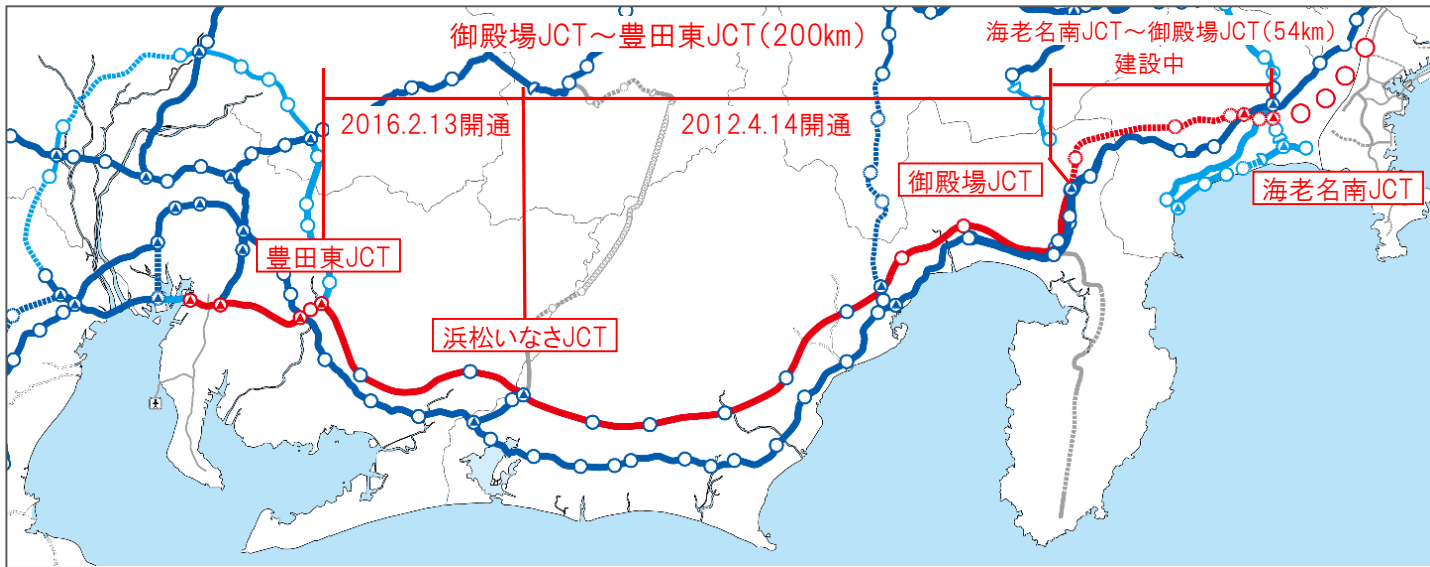
出典:経済産業省 2016年(1月~12月期)における工場立地動向調査について(速報)2017年3月



# 参考②新東名高速道路の効果

ダブルネットワーク化による物流の効率化と、より安全・安心・快適な移動の実現

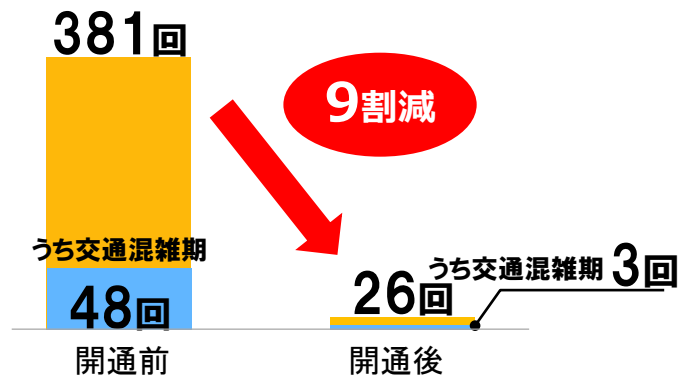
- 東名で発生していた渋滞(2015年間渋滞ワーストランキング9位～30位)も新東名の開通により、9割減少
- 東名海老名JCT～御殿場JCTでも渋滞(2016年間渋滞ワーストランキング6位～18位)が発生しており、新東名海老名南JCT～御殿場JCTの開通により、渋滞が緩和され、より安全・安心・快適な移動を実現します



## ■2015年の渋滞ワーストランキング



## ■新東名・東名の開通後の渋滞回数



※開通前 (2015年2月15日(日)～2016年1月4日(月))、開通後 (2016年2月14日(日)～2017年1月4日(水))、交通集中が要因となる渋滞を対象  
 ※東名集中工事期間 (2016年9月26日(月)～2016年10月7日(金)) 間に発生した渋滞は除く  
 ※交通混雑期: GW・お盆・年末年始  
 開通前 (GW: 2015年4月28日(火)～5月8日(金)、お盆: 8月8日(土)～8月18日(火)、年末年始: 2015年12月28日(月)～2016年1月4日(月))  
 開通後 (GW: 2016年4月28日(木)～5月8日(日)、お盆: 8月6日(土)～8月16日(火)、年末年始: 2016年12月28日(水)～2017年1月4日(水))

## ■2016年の渋滞ワーストランキング



## ■東名 大井松田IC～御殿場IC(上り)の渋滞状況



# 今回開通区間の料金



## 【厚木南ICと主要IC間の料金表】

### ○通常料金

(距離:km、金額:円)

道路名	IC名	距離	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車
東名 高速道路	東京	36.9	1,100	1,340	1,570	2,100	3,400
	東名川崎	29.3	910	1,100	1,280	1,700	2,730
	横浜青葉	23.6	760	910	1,060	1,400	2,230
	横浜町田	17.2	600	710	820	1,070	1,670
中央 自動車道	八王子	42.0	1,190	1,450	1,700	2,290	3,700
圏央道	海老名	4.9	290	320	350	420	590
	相模原 愛川	15.0	550	640	740	950	1,480
	寒川北	4.3	270	300	330	390	540
	寒川南	7.5	350	400	450	560	820

※上記は主要IC間の通常料金のみを表示しています。上記以外のIC間の料金や割引後の料金については、NEXCO中日本公式WEBサイトをご確認ください。

## 【ETC割引の適用について】

割引名称	主な内容
深夜割引	0時～4時までの間に対象となる道路を走行。30%割引。

※割引後の料金は四捨五入により10円単位の端数処理をおこないますので、割引率が異なる場合があります。

※各割引の適用条件やその他の割引等の詳細については、NEXCO中日本公式WEBサイトをご確認ください。

# 開通区間概要

## 1. 路線の概要

- 第二東海自動車道は、東京と名古屋を結ぶ延長約330kmの国土開発幹線自動車道です。
- わが国の大動脈である東名高速道路の抜本的な混雑解消や、ダブルネットワーク化による信頼性の向上、3大都市圏の連携強化により、社会・経済活動の発展などに寄与します。
- これまでに、新東名高速道路御殿場JCT～豊田東JCT間約200kmおよび伊勢湾岸自動車道豊田東JCT～東海IC間約31kmが開通しており、現在、NEXCO中日本では、新東名高速道路海老名南JCT～御殿場JCT間約54kmの建設を進めています。

## 2. 今回開通区間の概要

道路名	新東名高速道路
開通区間	海老名南JCT(神奈川県海老名市門沢橋) ～厚木南IC(神奈川県厚木市下津古久)
延長	約2km

## 【位置図】

